

安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

平成25年 冬 第34号

あかり

A K A R I

看護師さんを
募集しています

海外の人との交流	1
人形劇「のこのこ」	2
「病院フェア」を開催して	3
ウッドデッキコンサート2012	3
自宅で行なえる運動	4
病院機能評価認定病院	5
「静岡てんかん・神経医療センター」	5
「てんかん看護セミナー」を開催して	6
てんかん外来再診の診療体制 / 医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ	8
当院へのアクセス / イベント情報 / 本	8

海外の人との交流



当院には、アジアの各国から研修の方が来られます。昨年、中国、インドネシア、タイ、モンゴルの13名の医師、検査技師、看護師さんが、1ヶ月から24ヶ月間、滞在されました。生活文化の違う環境で、また理解のできない言葉が飛び交うなかで、懸命に、学びたいことを吸収しておられます。当院の技術は海外でも高く評価されています。研修は異文化のなかで自分および自国の医療を振り返る

良い機会でもあり、できるだけ応援してあげたいと思っています。

帰国された方々とは交流が続いています。それぞれの持ち場で活躍されているなかで直面している問題や、患者さんの治療について、メールなどで意見を交換することもあります。また実際に患者さんを当院に紹介されることもあります。

昨年紹介入院された海外の方には、17歳のモンゴルの女性もいました。父親と2人で、2月間の、自国では考えられない酷暑の生活を耐えて、てんかんの外科治療を受け、これまで種々の薬でうまく抑えられなかったてんかん発作がなくなり、喜んで帰国されました。

通訳を介してもうまく意図が交換できない、言葉以外のコミュニケーションですれ違いがある、日本の習慣や規則になじめないなど、看護する側の胃が痛くなることもあったのですが、退院のときの患者さんと家族のすがすがしい顔には、医療者としての喜びを感じました。

このような交流はまた、私たちの医療を見直す良い機会でもあります。日本の医療の良いところをみつめつつ、非は正し、これからも精進していきたいと思っています。

今年も、どうぞよろしく願いいたします。

(院長 井上 有史)

人形劇「のこのこ」

11月22日(木)に、人形劇「のこのこ」の小林記子さんと水野紀子さんが来訪され、当センターA4病棟プレイルームにて、約15名の入院患者様やそのご家族様が集まり「大きなかぶ」「ぐりとぐら」などが約30分行われました。劇が始まると皆さん夢中になって静かに鑑賞していました。

「のこのこ」さんは人形などの道具は手作り、市内の医療機関などにボランティアで活躍されています。心のこもった暖かい人形劇が感動を生み人気です。今後約2ヶ月に1度の割合で来院されます。

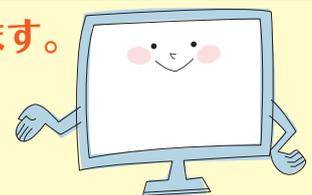
(医療福祉相談室 堀 友輔)



当院では、さまざまな職種を対象にセミナーを開催しています。
くわしくはホームページを検索して下さい。

静岡てんかん

検索



看護師さんを募集しています!

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り ②非常勤職員（外来、通所事業、病棟）

経験の少ない方、育児等で空白のある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか？相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@szec.hosp.go.jp

「病院フェア」を開催して

副看護部長 松山 みどり



当院は、平成13年10月に国立療養所静岡東病院と国立静岡病院が統合して発足しました。それを記念して、昨年より病院フェアを10月に開催しています。今年は、10月24日(水曜日)に開催し150名ほどの方に参加していただきました。「健康チェック」には多くの方が集まり健康への関心の高さを感じました。また、「AED」の実技には、元消防士の方の講習で多くの方に体験していただきました。他に、「指体操」や「リハビリ」コーナーも体験を取り入れて健康の大切さ



を感じて頂きました。また、感染管理認定看護師やてんかん看護院内認定看護師にも相談が寄せられました。他に「栄養コー



ナー」「薬剤相談」「医療福祉相談」「おむつのあて方」「放射線・検査」コーナーなど設置しました。また、「作品展示」コーナーには、入院患者様の作品や外来患者様の小林美保さんの織物を展示しました。フロアでは、ホスピタルクラウンが作った風船アートの作品をプレゼントして喜んでいただきました。

今回も、医療者と患者さまの交流の場としてコミュニケーションが図れたと感じます。来年も、10月に開催します。ホームページでお知らせいたしますので、ぜひお越し下さい。

ウッドデッキコンサート2012

C1病棟看護師長 高嶋 春美

2012年10月10日に、静岡市消防音楽隊の皆様をお招きし、重病棟のウッドデッキにおいてコンサートが開催されました。約1ヵ月前から病棟にはポスターが張り出され、患者様は毎日心待ちにしていました。

当日は、天候に恵まれ青空の下、音楽隊が奏でる音楽で体が自然とリズムを取っていました。患者様やご家族の方々も、手拍子をしたり、体を揺らしてリズムをとり音楽に聞き入っていました。知っている音楽が流れると、身を乗り出して満面の笑顔で聞き入りプログラムが終了しても拍手は

鳴り止まず、アンコールに答えていただきました。

療育指導室の皆さんが、重病棟の患者様の生活に刺激を与えたいと今回のコンサートを企画しました。音楽隊の皆様にはお忙しい中当院まで出張して演奏をしていただき、楽しい演奏会ありがとうございました。





～自宅で行なえる運動～



肩は日常大変よく使う関節で、五十肩など痛みが出やすい関節です。そのため、日常のケアは大切です。肩コリや肩の痛みを作らないよう無理なく運動を行ないましょう。

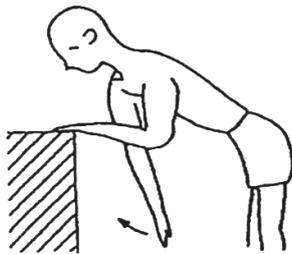
そこで、肩コリが気になる方や、肩の痛み・五十肩などを予防するためのリハビリテーション科では自宅でできる「肩の運動」をご紹介します。

注 意 点

- 痛みのない範囲で無理なく行って下さい。
- 各運動（振り運動以外）は5～10回程度を目安として、長時間行わないように注意して下さい。
- 行うのが難しい運動は無理に行わないようにして下さい。

①振り運動

良い方の腕を椅子などにもたせ、前屈位になって、悪い方の腕を下に垂らす。肩・腕の力を抜き、軽く反動をつけて、円を描く。



円を描くと痛みが出る場合は、腕を垂らすだけでもいいです。約2分程度行うと良いでしょう。

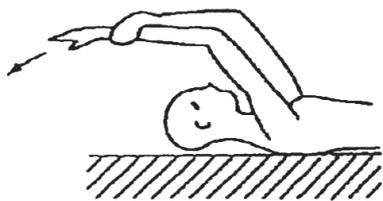
④後方挙上運動(棒体操)

まっすぐに立って、腰の後ろで棒を両手に持つ。良い方の腕に力を入れながら、棒を腰から後ろへ動かす。



②挙上運動

仰向けに寝て、良い方の手で悪い方の手首を握ったまま、万歳をします。



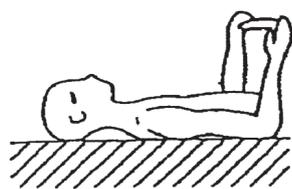
⑤内回し運動

立ったまま(立つのが不安定な方は座って)、腰の後ろにまわし、良い方の手で、悪い方の手首を握り、良い方の腕を助けながら、手を背中に沿って引き上げる。手を後ろで組むのが痛い・難しい方は、両手で棒を後ろでもって背中に沿って引き上げると負担が少なくてすみます。



③外まわし運動(棒体操)

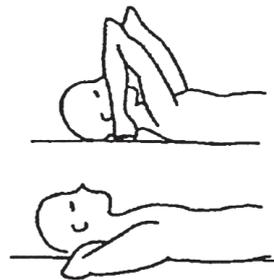
仰向けに寝て、腕を体につけたまま、肘を直角に曲げる。両方の手のひらで棒をはさみ、良い方の手で悪い方の手を外側に押す。(肘は体からはなさないように)



肘の痛みがでないように注意する。

⑥外回し運動

仰向けに寝て、おなかの上で組み、そのまま頭の後ろに両手をもってくる。肘を閉じたり、開いたりする。



(原案 コロンビア大学整形外科より抜粋)

病院機能評価認定病院 「静岡てんかん・神経医療センター」

当院はこのたび病院機能評価の更新審査を受審し、平成24年9月7日付で認定証の交付を受けました。

病院機能評価は、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動(機能)が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。公益財団法人日本医療機能評価機構が中立・公平な立場に立って、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質の向上が図られます。病院機能評価の審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」で、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると評価されます。この病院機能評価を静岡県は「病院の管理運営について第三者による中立的な評価を受けたことを証明するものであるとともに、患者が受診をする際



の目安にもなることから、病院・患者双方にとって有益なものであると」考え推奨しています。



受審に際し、準備作業として院内各部門において評価項目に添って評価と改善を行う必要があります。この準備作業の負担が非常に大きいことから、病院機能評価を受けない施設もあるようですが、準備作業を行うことで自己を振り返り、より良い病院を目指し努力する大きなきっかけになります。

当院でも職員が一丸となって、長い期間をかけ準備しましたが、確認作業を進めるなかで改めるべき点も見付き、改善を重ねた結果「認定」を受けることが出来ました。

今後とも当院の理念である「安心と信頼、良質なてんかん・神経の包括医療」を提供できるよう職員一同、日々努力してまいります。

(管理課長 成田 博)



「てんかん看護セミナー」を開催して

教育担当看護師長 舩田 俊一



当院は、平成16年から毎年、全国の看護師を対象に「てんかん看護セミナー」を開催しています。今年も、10月18、19日に22施設、36名、岩手、長崎、大阪など全国からてんかん看護に関わる看護師が参加され、9回目を実施しました。目的は、「てんかん医療・看護に携わっている看護師、及び関心を持っている看護師に対し、最新の知識、技術の充足を図る」で、患者様によりよい看護を提供したいという思いで集まっています。

研修前には、レポートで学びたいことを聞き、それを講師に伝え、講義の内容に加えてもらい、できるだけ受講生の希望に沿った研修を考慮しています。

研修内容は、1日目、2日目午前、小児・成人てんかんの疾患、看護、リハビリテーション、抗てんかん薬、社会福祉制度、心理、脳波検査と講義をおこないました。

動画を使ったてんかん発作の説明では、イメージが付きわかりやすかった。てんかんとリハビリ・心理検査との関連性、発作時の対応、記録の方法等が理解できたという意見がありました。

懇親会では、講義では質問できなかったことを聞いたり、情報交換の場として当院職員、受講生間とリラックスした雰囲気のなか、交流が図られました。

2日目の午後、てんかん・重度心身障害児(者)病棟見学では、これから病棟の改築をするため参考にしたい、てんかん患者様への環境の配慮、観察方法など多くの質問がありました。

病棟見学の後、医師、てんかん・重度心身障害児(者)院内認定看護師、各病棟スタッフを交えて全体の意見交換会を行い、医師がいない施設での悩み、マニュアル作成へのアドバイス、脳波検査中の注意事項など、それぞれの課題達成に向け活発な意見交換が行われました。

研修を2日間終了した受講生には、一人一人看護部長から修了証を授与し、新たな課題にむけ終了しました。

当院は、このセミナーを全国の看護師を対象におこなっており、てんかん患者様の生活の質の向上につながっていけばよいと考えています。また、てんかん専門職セミナー・成人、小児、医師の研修も開催しています。どの研修も、これまでの内容についてホームページでみることができます。



てんかん外来再診の診療体制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室	中村		白井桂	山崎	白井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今井		井上		松田
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺田	寺田
第6診察室	芳村	山崎		芳村	馬場好
第7診察室		小出			高山
第8診察室		西田	高橋		
第9診察室	重松			大谷	大谷

神経内科

	月	火	水	木	金
第10診察室	杉浦	小尾		※1山崎	小尾
第11診察室	溝口	八木	溝口		荒木/※2馬場国

※1午後のみ ※2第1、3週のみ

特殊外来

転倒予防外来	随時	溝口、小尾
物忘れ外来	随時	溝口、小尾
遺伝相談	適宜	高橋、溝口、小尾
禁煙外来	随時	池田仁

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00~12:30 ● 13:30~17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。

上記、医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人■

溝口 功一	寺田 清人	高嶋 春美
舩田 俊一	後藤 一純	仲野 久美子
児玉 和久	中神 基充	瀧口 直美
山本 恵	川口 梨沙	

発行■平成25年1月10日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

3 紹介状について

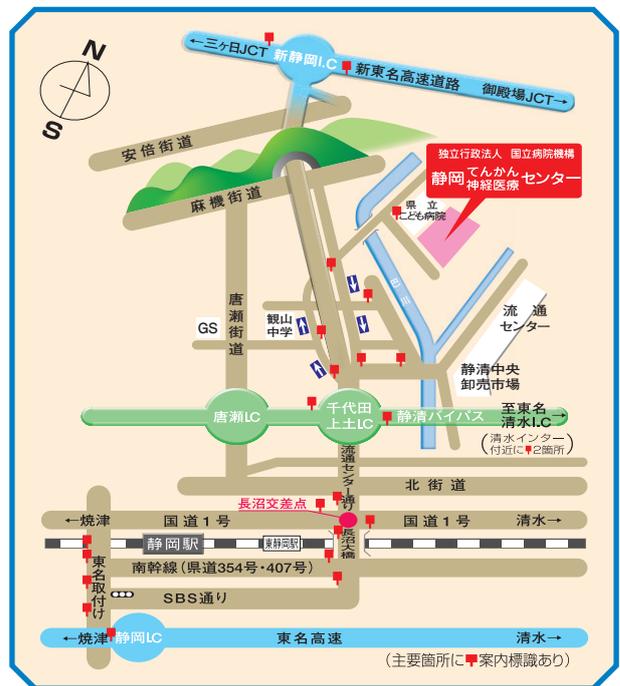
現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人350円、小児180円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,200円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から
東京方面から	● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速へ乗換。新東名高速新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
名古屋方面から	● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約30分。 ● 三ヶ日JCTで新東名高速へ乗換。新東名高速新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



イベント情報 INFORMATION

●第31回 てんかん専門職セミナー

2013年2月21日(木) 9:00~16:00
於 ◆静岡てんかん・神経医療センター 3階講堂

本 BOOK

●新てんかんテキスト~てんかんと向き合うための本[南江堂、2012年]

当院の59名のスタッフが、医学から生活にいたるまで、乳児から高齢者に至るまで、てんかんと向き合うための側面をとりあげ、わかりやすく解説しています。

●小児てんかん診療マニュアル[診断と治療社、2012年]

てんかん診療の基礎知識、鑑別診断と治療のポイント、患者・家族への説明に至るまで、診療場面で実践的に役立ちます。改訂第2版増補版。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <http://epilepsy-info.jp/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)